令和９年度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜１０月選抜

学力検査問題

小　論　文

注　意　事　項

１．問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
２．問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
３．問題冊子は表紙を除いて１ページ、下書用紙は１ページ、解答用紙は４ページとなっている。
４．問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
５．試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
６．試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
７．その他については、監督者の指示に従うこと。

科目名	小論文

令　和　９　年　度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜１０月選抜
試　験　問　題

（ １ 枚の １ ）

問

下記の文章を読んで、①～④の問いに対するあなたの考えを、合わせて 1600 字以内で述べなさい。

校内に生徒指導、教育相談、特別支援といった個別の指導・支援が必要な子どもがいる場合、学校組織としてその子どもの理解と対応を検討するために、「事例検討会」や「ケース会議」などと呼ばれる話し合いが行われることがある。こうした会議は、校内あるいは校外の機関も交えて開かれることがあるが、ここでは校内に話を限って考えたい。「事例検討会・ケース会議」では、当該の子どもの担任だけでなく、学年や教科でかかわる他の教員や、管理職や養護教諭、またスクールカウンセラーなど教員以外のスタッフも参加して、共に検討することになる。しかしながら、今日の学校状況では教職員に時間の余裕が少ない場合やその意義を組織として共有しにくい場合もあり、こうした会議を設けることは必ずしも容易ではないのが現実だろう。

① 対象となる「一人の子ども」に関して、複数の教職員がわざわざ時間や労力を割いて「事例検討会・ケース会議」を行うことについて、あなたの考えを述べなさい。

② 担任が「事例検討会・ケース会議」を必要と考えるのはどのような状況か、自身のこれまでの教員経験を踏まえて、具体的にあなたの考えを述べなさい。

③ 管理職が「事例検討会・ケース会議」を必要と考えるのはどのような状況か、あなたの考えを述べなさい。ただし、初めに管理職の具体的な役割（「校長」「教頭」など）を想定し、それを明記しなさい。

④ あなたがこれから「事例検討会・ケース会議」を企画・実施する立場の教員であるなら、会議を行う際、どのような点に留意するか、あなたの考えを述べなさい。